

年間安全衛生管理計画を作成しましょう

労働者の安全と健康を確保するためには、労働安全衛生関係法令に定める事項を確実に実施するとともに、各職場では自主的な安全衛生活動を展開し、職場の危険・有害因子を除去・低減する必要があります。

そのため、各事業場では、安全衛生の目標を設定し、年間を通じた実効性のある「安全衛生管理計画」を作成するとともに、労働者の協力の下「計画 実行 評価 改善」(PDCA)という一連の過程を実践し、安全衛生管理の徹底を図って下さい。

1 安全衛生管理計画の作成手順

(1) 作成の手順

安全衛生管理計画は以下の手順で作成します。安全衛生管理計画の作成に当たっては、安全衛生委員会等の場を活用し、実現性のある具体的な内容とすることが重要です。

安全衛生の基本方針の策定 職場の問題点の把握 安全衛生目標の設定 重点項目と具体的実施事項の設定 実施時期の設定
--

(2) 安全衛生の基本方針の策定

経営トップが労働災害にどのような基本方針で臨むのか「安全衛生基本方針」を示し、労働者に周知することが重要です。

基本方針には、事業場が1年間で取り組む基本的な方向について、具体的かつ簡潔に表現して下さい。

(基本方針の例)

基 本 方 針	1 安全衛生委員会による組織的、かつ、継続的に自主的安全衛生活動を実施していく仕組みを築き上げる。 2 職場の潜在的な危険性又は有害性を明らかにし、危険の芽(リスク)の低減を実現する。 3 あいさつ、身だしなみ、4S(整理、整頓、清掃、清潔)を徹底し、規律ある職場を築き上げる。 4 全従業員の健康保持増進と快適な職場環境の形成を促進する。
------------------	---

(3) 職場の問題点の把握

安全衛生管理計画の作成にあたっては、過去の災害発生状況、安全衛生パトロールの指摘事項、前年度の安全活動の実施結果、危険性又は有害性等の調査結果等から職場の問題点を把握して下さい。

(4) 安全衛生目標の設定

安全衛生の基本方針、前年度の評価、特定された危険性又は有害性を踏まえ、1年間の安全衛生目標を設定して下さい。

安全衛生目標は、達成の度合いが把握できるよう出来るだけ数値化して下さい。

(年間目標の例)

年	1	安全衛生委員会の毎月開催し、審議内容を充実させる。
間	2	安全作業手順書を作成し安全教育の徹底を図る。(全作業の80%以上を作成する。)
目		
標	3	健康診断の100%実施を図り、事後措置を確実に行う。

(5) 重点項目と具体的実施事項の設定

業務内容に応じた重点施策を設定して下さい。

実施項目欄には、安全衛生目標を達成するために実施する項目、法令で定められている事項、継続して実施する事項等を具体的に記入して下さい。(危険性又は有害性の調査結果を併記して下さい。)

前年度の評価欄には、前年度の安全衛生管理計画の達成状況を具体的に記入して下さい。(危険性又は有害性の調査結果を併記して下さい。)

(6) 実施時期の設定

各実施項目について、無理のないように実施時期を定め、年間スケジュール欄に記入して下さい。(実施月に や 、内容を記入して下さい。)

定期健康診断、建設機械等の自主点検(年次・月例)等の法令に基づく事項は、必ず定められた時期に実施して下さい。

2 安全衛生活動の実施と評価・見直し

安全衛生管理計画の実施事項は、実施の前月までに安全衛生委員会等で実施方法を検討して下さい。

安全衛生管理計画の実施状況を定期的に確認し、未実施の場合は出来るだけ早期に実施して下さい。また、目標、実施事項とつき合わせてチェックし、目標に達していない場合は、その原因を調査し、年度の途中であっても計画の意見直しを行って下さい。

労働災害が発生した場合には、安全衛生委員会等で発生原因と再発防止対策を審議し、出来るだけ早期に再発防止対策が実施されるよう計画の見直しを行って下さい。

3 次年度計画の作成

次年度に当初から安全衛生活動を実施できるよう、年度末には安全衛生管理計画の達成状況の評価を行い、次年度の安全衛生管理計画（案）を作成し、安全衛生委員会等で審議して下さい。

4 各現場の安全衛生管理計画

建設業においては、上記で作成した店社の安全衛生管理計画を参考に、各現場においても安全衛生管理計画を作成して下さい。

現場の安全衛生管理計画の作成に当たっては、危険性又は有害性の調査（リスクアセスメント）結果を反映することが重要です。

現場の安全衛生管理計画は、安全衛生協議会等の場を活用し、関係請負人にも周知して下さい。